

株主メモ

事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	10月
基準日	7月31日
配当金支払株主確定日	上記のほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。 期末配当金 7月31日 中間配当金 1月31日
単元株式数	100株
上場市場	東京証券取引所市場第一部
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ (https://www.samco.co.jp/) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料) ※株式関係のお手続き用紙のご請求は、三菱UFJ信託銀行のホームページ (https://www.tr.mufg.jp/daikou/) でも承っております。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご紹介

最新のトピックスをはじめ、財務情報や会社情報を掲載しております。製品・アプリケーションの紹介や広報誌『samco NOW』など、掲載内容を充実させております。当社をよりご理解いただくためにもぜひアクセスしてください。

<https://www.samco.co.jp/>



トップページ

samco

samco[®]
サムコ株式会社

証券コード 6387

**BUSINESS
REPORT
2018**

第39期 中間報告書
2017.08.01 ▶ 2018.01.31





平成30年4月
代表取締役会長兼社長 辻 理

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。当社第39期中間期の報告書をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

当社を取り巻く半導体等電子部品業界におきましては、IoT (Internet of Things) や人工知能 (AI) の進展により主にシリコンを材料とした半導体メモリーの需要が急増し、これに関連した設備投資が積極的に行われました。また、当社の関わる化合物半導体及び電子部品製造装置の販売マーケットにおきましても、新たなモバイル機器や車載センサーなどの電子部品分野、あるいはMEMS (Micro Electro Mechanical Systems=微小電気機械素子) といった先端分野での研究開発投資が幅広い企業で進んでおり、その中から

本格生産への移行も進んでおります。

このような状況の下、当中間期はオプトエレクトロニクス分野の通信用レーザーや面発光レーザー (VCSEL)、電子部品分野の高周波デバイス、MEMS、各種センサー等の生産設備案件において国内外の複数顧客からの受注が大幅に増加し、受注高は3,863百万円 (前年同期比88.8%増)、受注残高は2,844百万円 (前年同期比172.3%増) とともに過去最高となりました。一方、売上高への本格的な寄与は第3四半期以降となり、当中間期の売上高は2,053百万円 (前年同期比19.4%増)、営業利益は77百万円 (前年同期は営業損失84百万円)、経常利益は72百万円 (前年同期は経常損失15百万円)、中間純利益は48百万円 (前年同期は中間純損失14百万円) となりました。

通期の見通しにつきましては、当中間期における業績の進捗及び事業環境等を勘案し、売上高は期初予想4,500百万円から5,100百万円 (前期比63.2%増) へ、経常利益は同365百万円から600百万円 (前期は経常損失214百万円) へ、当期純利益は同315百万円から425百万円 (前期は当期純損失265百万円) へと修正いたしました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

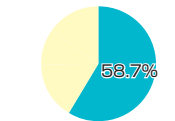
なお、配当につきましては、通期での実施を予定しておりますので、株主の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

品目別販売状況

■ エッチング装置

売上高 1,205百万円
前年同期比 17.0%増

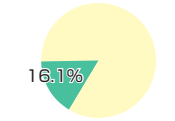
海外のオプトエレクトロニクス分野の半導体レーザー (LD) やマイクロLED向けの販売増加に加え、国内の実装・表面処理分野の樹脂基板向けの販売が伸び、売上高は1,205百万円となりました。



■ CVD装置

売上高 331百万円
前年同期比 309.9%増

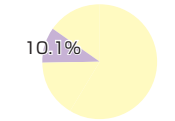
国内、海外ともにオプトエレクトロニクス分野のLD向けなどの生産用装置の販売が大幅に増加し、売上高は331百万円となりました。



■ 洗浄装置

売上高 207百万円
前年同期比 6.3%減

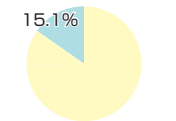
海外のオプトエレクトロニクス分野と電子部品分野の販売は伸びましたが、国内のオプトエレクトロニクス分野の減少により、売上高は207百万円となりました。



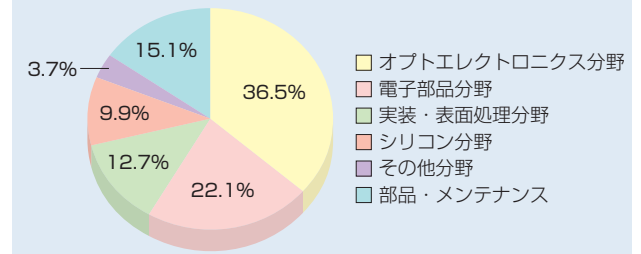
■ その他

売上高 309百万円
前年同期比 20.2%減

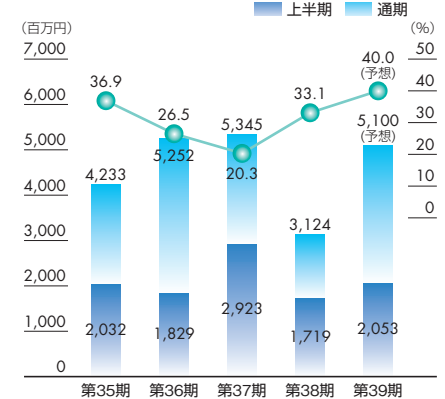
既存装置のメンテナンスや部品販売、装置の移設・改造作業などで、売上高は309百万円となりました。



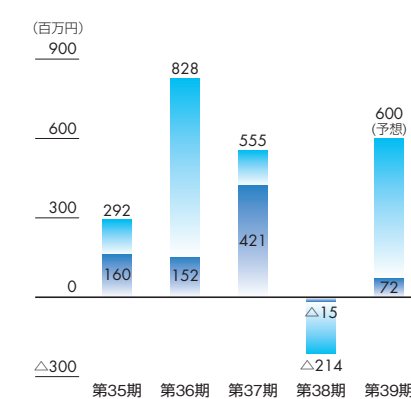
■ 用途別売上高割合



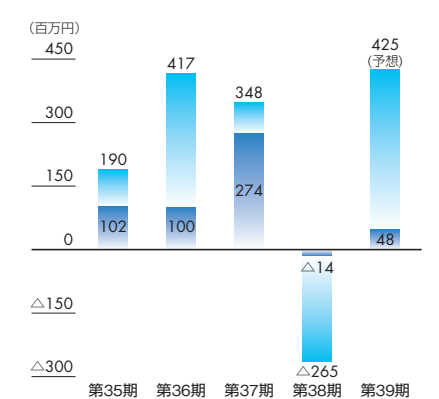
■ 売上高・海外輸出割合



■ 経常利益



■ 中間(当期)純利益



貸借対照表

単位：千円（未満切り捨て）

科目	当中間期 (平成30年1月31日現在)	前中間期 (平成29年1月31日現在)	前期 (平成29年7月31日現在)	科目	当中間期 (平成30年1月31日現在)	前中間期 (平成29年1月31日現在)	前期 (平成29年7月31日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	7,096,259	6,560,672	6,427,832	流動負債	2,042,986	1,431,774	1,373,490
現金及び預金	4,547,320	4,579,922	4,722,576	買掛金	613,663	369,678	341,567
受取手形	25,594	14,043	117,588	短期借入金	800,000	800,000	800,000
売掛金	1,525,070	1,369,408	660,646	未払金	96,768	88,145	79,246
たな卸資産	950,128	555,969	700,066	未払費用	31,326	43,910	29,904
繰延税金資産	73,490	25,748	73,490	未払法人税等	36,326	13,689	15,369
その他	41,287	85,267	220,975	前受金	400,201	62,265	49,728
貸倒引当金	△ 66,632	△ 69,686	△ 67,510	預り金	17,990	17,844	24,933
固定資産	3,663,820	3,822,920	3,700,078	賞与引当金	24,800	19,400	19,300
有形固定資産	3,084,867	3,171,374	3,127,139	製品保証引当金	12,400	11,200	9,400
建物	382,860	273,233	397,955	その他	9,509	5,640	4,040
構築物	1,272	1,615	1,400	固定負債	783,480	731,536	753,461
機械及び装置	108,866	98,014	134,357	退職給付引当金	400,126	368,907	386,815
車両運搬具	10,307	15,743	12,449	役員退職慰労引当金	362,045	349,901	356,039
工具、器具及び備品	31,053	36,055	29,388	その他	21,308	12,727	10,606
土地	2,530,836	2,530,836	2,530,836	負債合計	2,826,467	2,163,310	2,126,951
リース資産	19,404	16,161	14,141	(純資産の部)			
建設仮勘定	265	199,714	6,608	株主資本	7,806,401	8,129,549	7,878,202
無形固定資産	14,752	9,282	8,086	資本金	1,663,687	1,663,687	1,663,687
投資その他の資産	564,200	642,263	564,852	資本剰余金	2,079,487	2,079,487	2,079,487
投資有価証券	236,276	178,968	227,421	資本準備金	2,079,487	2,079,487	2,079,487
関係会社株式	101,884	101,884	101,884	利益剰余金	4,073,938	4,396,895	4,145,608
繰延税金資産	66,312	180,799	68,270	利益準備金	59,500	59,500	59,500
その他	159,726	180,611	167,276	その他利益剰余金	4,014,438	4,337,395	4,086,108
資産合計	10,760,080	10,383,593	10,127,911	別途積立金	3,867,000	3,867,000	3,867,000
				繰越利益剰余金	147,438	470,395	219,108
				自己株式	△ 10,711	△ 10,520	△ 10,580
				評価・換算差額等	127,211	90,733	122,756
				その他有価証券評価差額金	127,211	90,733	122,756
				純資産合計	7,933,612	8,220,282	8,000,959
				負債・純資産合計	10,760,080	10,383,593	10,127,911

損益計算書

単位：千円（未満切り捨て）

科目	当中間期 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)	前中間期 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)	前期 (自平成28年8月1日 至平成29年7月31日)
売上高	2,053,265	1,719,738	3,124,652
売上原価	1,049,777	946,044	1,682,636
売上総利益	1,003,488	773,694	1,442,016
販売費及び一般管理費	926,017	858,238	1,721,109
営業利益	77,470	△ 84,544	△ 279,093
営業外収益	8,782	72,939	71,029
営業外費用	13,870	4,105	6,812
経常利益	72,382	△ 15,710	△ 214,876
税引前中間(当期)純利益	72,382	△ 15,710	△ 214,876
法人税、住民税及び事業税	23,550	△ 1,692	4,262
法人税等調整額	—	—	46,164
中間(当期)純利益	48,831	△ 14,017	△ 265,304

Point ▶ 売上高

前期末受注残高が1,034,016千円と低調であったが、当中間期の受注高は過去最高の3,863,742千円となり、売上高は前年同期比19.4%増の2,053,265千円。

国内の売上高は、前年同期比12.0%増の1,368,786千円。海外の売上高は、前年同期比37.7%増の684,478千円。

Point ▶ 販売費及び一般管理費

売上高の増加に伴い前年同期比7.9%増の926,017千円となったが、販管費率は前年同期の49.9%から45.1%へ4.8ポイント減少。

Point ▶ 営業外費用

円高による外貨預金等の為替差損が11,819千円発生。

Point ▶ 損益分岐点

損益分岐点売上高は1,894,281千円。

キャッシュ・フロー計算書

単位：千円（未満切り捨て）

科目	当中間期 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)	前中間期 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)	前期 (自平成28年8月1日 至平成29年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 36,397	133,111	295,645
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,209	△ 130,931	△ 148,296
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 123,871	△ 162,769	△ 164,850
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 8,780	46,661	41,955
現金及び現金同等物の増減額	△ 180,259	△ 113,928	24,454
現金及び現金同等物の期首残高	2,918,283	2,893,828	2,893,828
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	2,738,023	2,779,900	2,918,283

Point ▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー

プラス要因：前受金の増加350,473千円、仕入債務の増加272,096千円、法人税等の還付額91,397千円、税引前中間純利益72,382千円。

マイナス要因：売上債権の増加772,431千円、たな卸資産の増加241,648千円、預り金の減少6,942千円、受取利息及び受取配当金2,007千円。

Point ▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー

プラス要因：定期預金の払戻による収入1,756,734千円、貸付金の回収による収入12,578千円。

マイナス要因：定期預金の預入による支出1,763,104千円、有形固定資産の取得による支出10,704千円。

Point ▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー

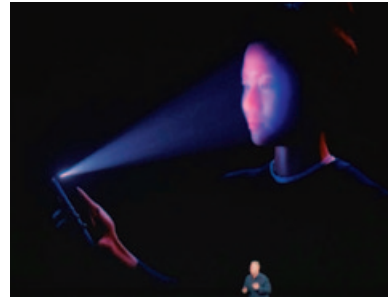
マイナス要因：配当金の支払120,502千円。

○IoTの進展に伴い装置需要が急拡大

～面発光レーザー（VCSEL）等の半導体レーザー（LD）向けの受注が好調～

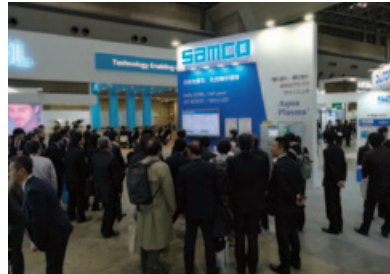
面発光レーザー（VCSEL）は、素子を平面上に並べて作るアレイ構造が可能のため、低コストでの大量生産に適しています。光インターコネクトやコンピュータマウス、レーザープリンタなどに应用されていますが、最近ではiPhone Xの顔認証システムにも採用され、需要が急拡大しております。

当社は化合物半導体向け加工装置のリーディングカンパニーとしてVCSEL等の半導体レーザー（LD）向けにドライエッチング装置を中心とする製品を拡販しており、国内外で受注を大きく伸ばしております。



VCSELを用いたiPhone Xの顔認証システム
出典：engadget日本版

○セミコン・ジャパン2017に出展



セミコン・ジャパン2017 当社ブース

世界最大級のエレクトロニクス製造サプライチェーン総合展示会である『セミコン・ジャパン2017』が12月13日から15日までの3日間、東京ビッグサイトで開催されました。

当社は、『Beyond the Border.』をテーマに、本格生産用低温成膜CVD装置やICPエッチング装置などを最新の技術データとともに紹介しました。また、洗浄・表面改質装置『AQ-2000』による銅の還元の実演やCOP樹脂基板の親水化処理などバイオデバイス分野への応用の紹介、化合物半導体のプレゼンテーションを行い、多くの引合いを賜りました。

○広報誌『samco NOW』第100号を発行

半導体、薄膜分野の「技術者、研究者と産業界との知識共有」をコンセプトとして1988年6月に創刊しました広報誌『samco NOW』の第100号を2018年1月に発行いたしました。第100号では、光エレクトロニクス分野の世界的権威であり、VCSELの発明者である東京工業大学 前学長・名誉教授の伊賀健一先生への特別インタビュー記事を掲載いたしました。

さらなる誌面の充実を目指し、新しい試みにも積極的に挑戦し、産業界と研究者の皆様とのよき橋渡しとしてお役に立てるよう一層努力してまいりたいと思っております。

※『samco NOW』はホームページに掲載しております。
<https://www.samco.co.jp/company/samconow/>



samco NOW 第100号

■ 会社概要

商号 サムコ株式会社
 英文社名 SAMCO INC.
 設立 昭和54年（1979年）9月
 事業内容 半導体等電子部品製造装置の製造、販売及び輸出入
 資本金 1,663,687,288円
 従業員数 166名
 本社 〒612-8443 京都市伏見区竹田藁屋町36番地
 TEL(075)621-7841 FAX(075)621-0936
 国内拠点 本社（京都）、東日本営業部（東京）、東海支店（愛知）、つくば営業所（茨城）、福岡営業所（福岡）
 海外拠点 米国（カリフォルニア・ニュージャージー）、台湾、シンガポール、中国（上海・北京）、韓国、マレーシア
 研究拠点 本社研究開発センター（京都）、オプティクス研究所（米国）

■ 役員

代表取締役会長兼社長 辻 理
 代表取締役副社長 石川 詞念夫
 取締役専務執行役員 川邊 史
 取締役上席執行役員 竹之内 聡一郎
 取締役執行役員 関 伸修
 社外取締役 村上 正紀
 小林 弘明
 常勤監査役 辻村 茂
 社外監査役 木村 隆之
 西尾 方宏
 執行役員 久保川 泰彦
 ピーター・ウッド
 本山 慎一
 山下 晴彦
 佐藤 清志

■ 株式の状況

発行可能株式総数 14,400,000株
 発行済株式の総数 8,042,881株
 株主数 7,542名

■ 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
辻 理	1,010,507	12.6
サムコエンジニアリング(株)	920,282	11.4
(財)サムコ科学技術振興財団	800,000	9.9
サムコ従業員持株会	205,238	2.6
辻 一美	201,465	2.5
辻 猛	193,215	2.4
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	135,300	1.7
(株)三菱東京UFJ銀行	129,600	1.6
京都中央信用金庫	120,000	1.5
SICAV ESSOR JAPON OPPORTUNITES	115,000	1.4

■ 所有者別株式分布状況

